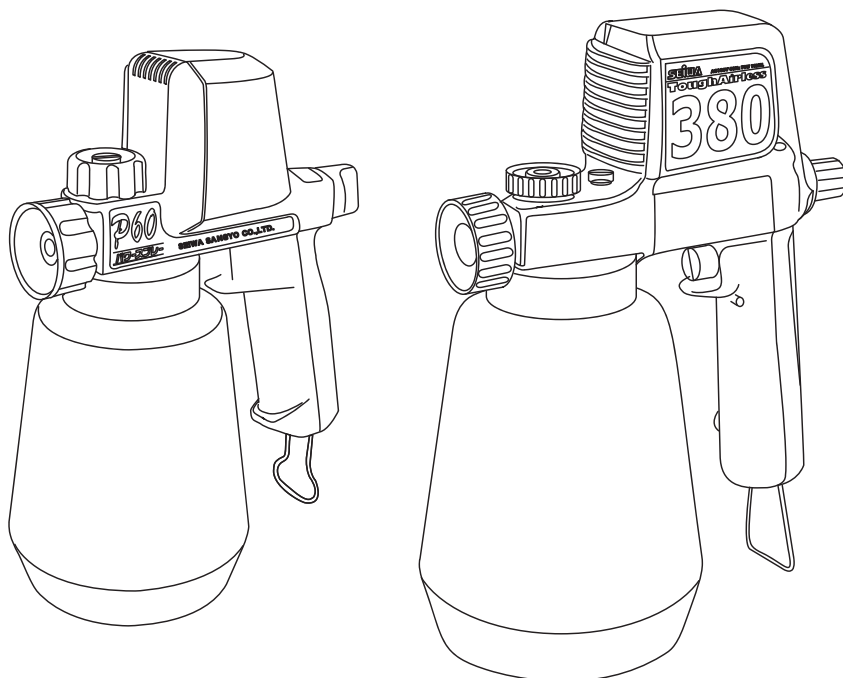


# SEIWA タフエアレス/パワースプレー

OPE-MAN/タフエアレス\_パワースプレー/2507





## 取扱説明書



この度は、**SEIWA**『タフエアレス・パワースプレー』をご選定いただきまして厚くお礼申し上げます。  
ご使用前にこの「取扱説明書」をよく読み、正しく安全にお使いください。誤った取り扱いは機械の故障や大変な事故につながります。機械を操作する前にいつでも見られるように大切に保管してください。

- 品質、性能向上または安全上、部品の変更を行う事がありますが、その際は本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 不明な点やお気づきのことがございましたら、お買い上げ店、最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
- 文中の記号について

⚠ 印付きの下記のマークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。

 <b>危険</b>	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う危険性が大きいことを示します。
 <b>警告</b>	適切な事前注意をとらないと 死亡又は重傷を負う可能性があることを示します。
 <b>注意</b>	適切な事前注意をとらないと 傷害又は製品の重大な損傷を招く可能性があることを示します。
 <b>留意</b>	製品の使用上の留意点や参考となる事柄を示します。

## 安全のために

### ⚠ 危険

- 狭い敷地内で、引火性のある塗料（液体）を用いた塗装作業は火災や爆発の危険があります。換気の良い場所で使用してください。
- タバコ、ライターの火、電源スイッチからの電気火花、近くでの溶接、グラインダー作業の火花、静電気による火花放電などは引火源となりますので近づけないでください。
- 本機は非防爆構造です。塗装現場から離し、引火性爆発性ガス、腐蝕性ガスのある場所では使用しないでください。火災や爆発事故につながり危険です。

### ⚠ 警告

- 非常に高い圧力で噴出する塗料（液体）は身体を傷つける危険があります。
- 漏れ出している部分を手足や体で止めることは絶対しないでください。
- 5分以上の連続運転は避けてください。
- 作業中スプレー口が詰った場合絶対にのぞき込んだり指で触れないでください。
- 異常を取り除く場合は必ず通電を止めて人体に向けて絶対にスプレーしないでください。
- 接続部は漏れがないようしっかり締め付けてください。
- 高圧力で塗料を霧化する為、静電気が発生することがあります。
- 必要以上にシンナーだけの噴出は避けてください。引火すると危険です。

### ⚠ 注意

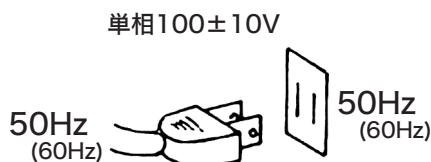
- 雨、漏れた場所、蒸気など湿気の多い場所での保管、使用はしないでください。感電事故、サビつきにつながります。
- 関係者以外やお子様は近づけないでください。誤った操作やいたずらにより思わぬ事故を招きます。
- 本機に直接塗料を吹き付けたり、ゴミ・ホコリの多い場所では使用しないでください。

### ⚕ 医療処置

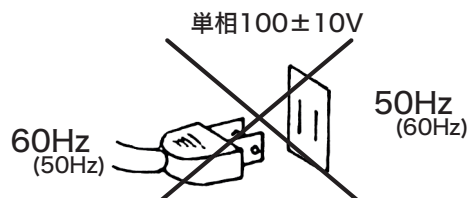
- たとえどのような塗料(液体)であっても皮膚を傷つけた場合は、軽傷として扱わず直ちに医師による適切な治療を受けてください。又、どのような液体によるものかを的確に告げてください。

### ⚠ 電源について

- 本機は、周波数が分かれております。  
異なった周波数で使用するとコイル焼付きのおそれがあります。



※50Hz(60Hz)同士で接続してください。

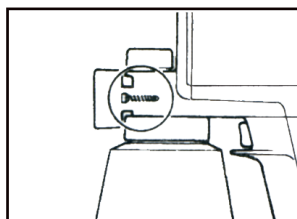


※お互いが周波数の違う場合は接続しないでください

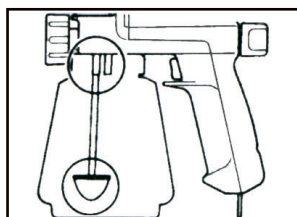
# 使用方法

## 作業手順

### ■ 使用前の点検事項



1. バルブセットが正しく取り付けられている事を確認してください。



2. サクションパイプ及びサクションフィルターを確実に取り付けてください。

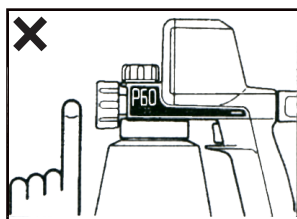
### ■ 開始時

3. コンテナに適度な濃さにうすめた塗料を入れる。  
(ご使用になる塗料の5%~10%のシンナー(油性塗料の場合)又は水(水性塗料の場合)でうすめてください。)
4. プラグをコンセントに差し込む。
5. スイッチボタンを押す。  
(空気が抜けるまで3秒~5秒空打ちする。)
6. スプレー開始。

### ■ 終了時

1. コンテナにきれいなシンナー(油性塗料を使用したとき)又は水(水性塗料を使用したとき)を入れ、捨て吹きする。
2. サクションパイプを外し、ポンプ部に注油(ミシン油等)数秒間空打ちする。

### ■ 使用前の点検事項

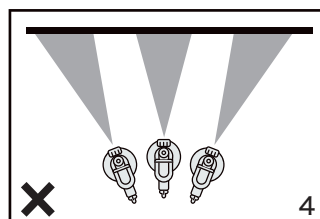
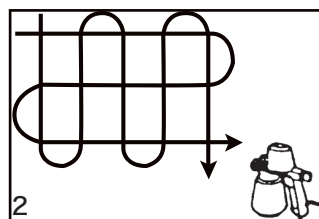
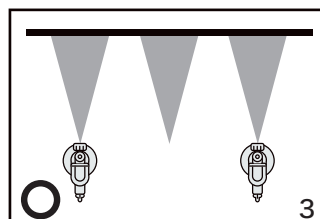
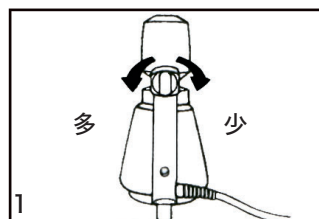


ノズルの先端は高压です。スプレー中は絶対に手を近づけないでください。

- ノズルが詰まったり、ポンプが固着したときは通電を止めてください。スイッチを押し続けると電磁コイル焼損の原因となります。
- 油性塗料を室内で使用するときは換気を充分に行なってください。

# 塗装のポイント・塗料について

- 塗装前に新聞紙等に試し吹きをして、塗霧の状態を確かめてください。美粧塗装したいときは塗料をうすめにして、4~5回塗ってください。又、保護等を目的とする厚塗り塗装のときは濃いめに調整してください。吐出量の調整は調整ノブ(図1)で行ないます。
- スプレーガンは水平に保ってください。(塗料が少ないとき、空気を吸い込み塗料が出なくなります。)
- まず左右に、次に上下へと吹き付けます。中断しないで一気に吹き付けてください。(図2) 吐出量が多いのでガン選びが遅いと塗りすぎ、ダレの原因になります。
- ムラなく塗るには、吹き付け距離(20~30cm)を一定に保つ事です。手首だけで動かさないで腕全体を動かすのがコツです。(図3・4)



### ■ 使用できる塗料

水性	○つや有り ○半つや ○ステイン ○外部用ステイン ○ニス ○外壁用普通仕上げ塗料 ○内壁用 ○浴室・台所用 ○シーラ ○エナメル塗料 ○さび止め用 ○瓦用 ○トタン用
	油性
油性	○トタン屋根用 ○外部建物用(合成樹脂調合ペイント) ○外部用ステイン ○車輻用塗料 ○マリン塗料 ○さび止め用 ○オイルステイン ○床用ワニス(ポリウレタンワニス) ○カラーワニス ○シーラ

### ■ 使用できない塗料

- 砂状ペンキ(モルタル等)
- 二液性で特に可使時間の短い塗料
- 超高粘度塗料

※ 研磨性体質顔料の多い塗料はポンプの磨耗をはやめます。

### ■ 塗料以外で使用できるもの

- コーラタール ○洗浄液 ○防水剤
- 防腐剤 ○防虫剤

仕様諸元表

	タフエアレス 380	パワースプレー P60
最大吐出量	380cc/分	220cc/分
吐出圧力	7.5Mpa	6.5Mpa
電源	AC100V	AC100V
消費電力	80W	60W
本体重量	1.7kg	1.45kg
寸法	202×300×274mm	65×275×210mm

塗料粘度とノズル口径

使用塗料	粘度 (フォードカップ #4)	ノズル口径
油性調合ペイント	20～30秒	0.3mm
合性調合ペイント	30～50秒	0.4mm
エマルジョンペイント	30～50秒	0.5mm
フタル酸樹脂ペイント	25～40秒	0.6mm
塩化ビニールペイント	20～40秒	0.7mm
焼付メラミンペイント	20～40秒	0.8mm
ラッカー系ペイント	20～30秒	1.0mm

ノズル口径とパターン巾

ノズル口径	パターン巾 (吹付距離 20cm)
0.3mm	約 6 cm
0.4mm	約 8 cm
0.5mm	約 10cm
0.6mm	約 12cm
0.7mm	約 14cm
0.8mm	約 16cm
1.0mm	約 18cm

※バルブセット、ノズルが摩耗するとパターンが変り霧が悪くなります。  
新しい部品と交換してください。

※塗料の種類、粘度により多少差があります。

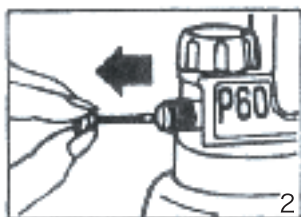
## 使用後の手入れ

### 保守点検

#### ■分解洗浄方法



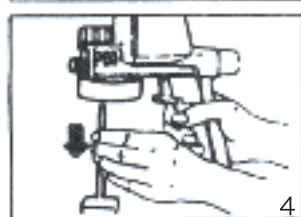
ノズルを外す。



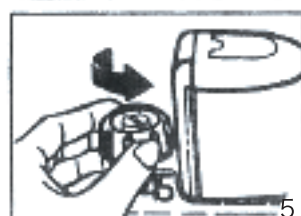
バルブセットを外す。



コンテナを外す。



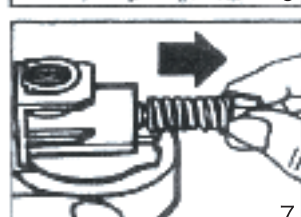
サククションパイプを抜き取り、パイプ部、フィルター部を洗浄する。



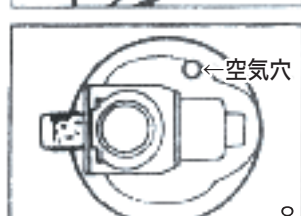
ポンプ止めネジを外す。



ポンプ部を押し下げ機械本体から外す。



ピストンを抜き、ピストン、ピストンスプリング、ポンプハウジングを洗浄する。



ノズル、ポンプハウジングの空気穴が詰っていないか確かめる。

## 故障の原因と対策

### トラブル対策

#### ■正常の音(空打ち)がして吐出しない

原因	対策
1.バルブコーンの摩耗。	1a.塗料をコンテナいっぱいに入れ、下向きにしてスイッチを押し続ける。
	1b.バルブコーンの交換。
2.バルブセットの不備	2.バルブセットを正しく入れる。
3.ノズルの詰まり。	3.ノズルを外し洗浄する。
4.調整ノブの締め過ぎ。	4.調整ノブを左に廻す。
5.サククションパイプの取付不良。	5.サククションパイプを正常に付け直す。

#### ■正常な音がせずうなり音をする

1.ピストンの固着。	1.ポンプ・ピストンを分解して洗浄する。 (グリス等を付けると良い)
------------	---------------------------------------

#### ■霧が悪い

1.ノズルの摩耗。	1.ノズルの交換。
2.塗料が濃すぎる。	2.塗料を適度な濃さに薄める。
3.ノズルの口径が大きい。	3.小さい口径ノズルを適用する。
4.調整ノブの調整位置が不適当。	4.調整ノブを左右に廻し適当な位置にする。
5.ピストンの摩耗。	5.ピストンの交換。
6.サククションフィルターの詰まり。	6.サククションフィルターを交換する。
7.ポンプハウジングの空気穴の詰まり。	7.空気穴を針等で開けコンテナに空気が入る様にする。
8.スワールヘッドの摩耗。	8.スワールヘッドの交換

#### ■コンテナがつぶれる

1.空気穴の詰まり。	1.空気穴を針等で開け、コンテナに空気が入る様にする。
------------	-----------------------------

電磁式エアレス使用前に必ず下記空欄に必要な事柄を記入してください。  
点検の時に大変役に立ちます。

項 目	ご 記 入 欄		
型 式	タフエアレス380	ご使用開始 年 月 日	
製造番号		ご購入先 (必須)	TEL ( )
ご 購 入 年 月 日		※必ずご記入ください	

## アフターサービスについて

### 保証規定

#### 1.保証内容

お買い上げの日から1年の間に正常な使用状態にも関わらず弊社の責任に基づき故障が発生した場合は無償修理させていただきます。

#### 2.適用除外 ●保障期間中でも下記の場合には適用いたしません

- (1) 不当な修理や改善による故障、損傷。
- (2) お買い上げ後の落下などによる故障、損傷。
- (3) 火災、塩害、ガス外、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障、損傷。
- (4) 使用・取扱い上の酷使、過失、手入れ不十分および外的損傷による故障、損傷。
- (5) ノズル、摺動部の磨耗およびパッキン等の消耗部品。
- (6) 注意事項および取扱説明書に記載した内容の範囲外の条件で使用した故障および損傷。
- (7) 書類に不当な字句訂正などがあった場合。

#### 3.本書はお買い上げの納品書(納入口が記載されていることを確認)とともに大切に保管してください

<https://www.seiwa.com>

### 修理サービス

修理はお買い上げの販売店又は、弊社最寄りの営業所にご連絡ください。

## SEIWA 精和産業株式会社

浜松配送センター

〒432-8006 静岡県浜松市中央区大久保町1348  
TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180

仙 台	981-1105	仙台市太白区西中田6-15-13	TEL 022-241-2145
群 馬	371-0854	群馬県前橋市大渡町1-8-6	TEL 027-251-3457
東 京	136-0072	江東区大島5-12-7	TEL 03-3638-6911
神 奈 川	242-0029	大和市上草柳8-28-18	TEL 0462-63-3029
名 古 屋	453-0839	名古屋市中村区長筈町4-15	TEL 052-412-1717
大 阪	547-0001	大阪市平野区加美北8-1-18	TEL 06-6794-3511
岡 山	710-0841	倉敷市城南606-1	TEL 086-426-5200
福 岡	816-0912	大野城市御笠川1-8-7	TEL 092-504-7213
エス・ディー ツール	891-0175	鹿児島市桜ヶ丘2-22-10	TEL 0992-75-7550
塗機商事	903-0124	中頭郡西原町呉屋108-6	TEL 0989-43-4495